

緑内障とは

緑内障とは、視野の中に見えない部分ができ、それが徐々に広がっていく病気です。視野が欠けていることに気付かず、失明してしまうケースもあります。

症状

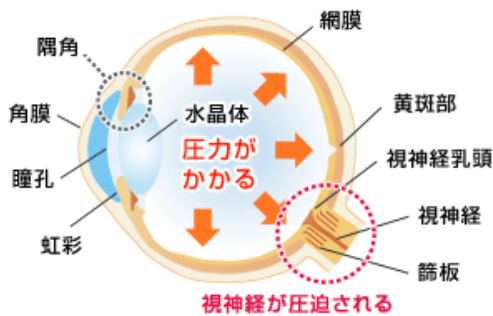
急に暗闇が出現するのではなく、最初は「一部がかすむ」程度から始まります。中期には「霧が徐々に広がる」ようになり、後期には「霧の中にいるようにぼんやりする」と言う見え方になります。

緑内障の進行



原因

眼圧が異常に高くなることで、一番繊細な部分の視神経が傷つくことです。



検査

緑内障で欠けた視野は元に戻らない為、**早期発見・早期治療**が大切です。緑内障の検査は、**視力検査、眼圧検査、眼底検査、隅角検査、視野検査**が行われます。

① 眼圧測定
目の中の圧力を測る



② 眼底検査
目の奥の形や神経・血管の様子を調べる



③ 視野検査
鮮明に見える範囲(視野)を測る



早期発見・早期治療を行いましょう。

治療

●眼圧下降治療(点眼薬)

障害された視神経がもとに戻ることはありませんが、生涯、視野を保つのに有効であることは確認されています。点眼薬を使用しても徐々に障害がすすむことはありますが、将来の失明を回避できることが多いです。



●レーザー治療 ●手術

隅角が詰まったり閉じたりしている場合や、目薬を使っても眼圧が下がらない場合には、レーザー治療や手術を行い、房水を流れやすくして眼圧を下げます。

【点眼薬のさし方ポイント】

まつげに
ふれないようにする

たらずのは1滴

瞬きをせず
軽く目を閉じる

目頭を軽く抑える